

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 外科的閉経となった子宮体癌サバイバーに対するホルモン補充療法の実態を把握するための後方視的調査研究</p> <p>●研究の対象 2012年1月～2019年12月に静岡赤十字病院、浜松医科大学および共同研究機関で子宮体癌に対する手術を受け、外科的閉経（卵巣摘出によって閉経になること）となり、再発低リスク群と診断された方</p> <p>●研究の目的 子宮体癌に対する手術で外科的閉経となった方に対するホルモン補充療法の実態調査を行うことで、子宮体癌再発や有害事象（乳癌発症、血栓症）の実態を明らかにし、今後の子宮体癌手術による外科的閉経となった方へのヘルスケア向上に生かすことを目的としています。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2027年3月31日まで</p> <p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関から代表研究機関（浜松医科大学）へ情報の提供は、郵送で行います。提供にあたり個人を特定する情報は削除します。個人を特定するための情報は、各機関の研究責任者・分担者が管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：身長、体重、病歴、治療歴、副作用等の発生状況等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学医学部附属病院 産科婦人科 成味恵 静岡赤十字病院産婦人科 市川義一 静岡がんセンター婦人科 川村温子</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	富士市立中央病院産婦人科 井上結貴 静岡県立総合病院産婦人科 浮田真沙世 磐田市立総合病院産婦人科 勝又佳菜
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	浜松医科大学医学部附属病院 産科婦人科 成味恵
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒420-0853 静岡市葵区追手町 8-2 静岡赤十字病院 部署名： 産婦人科 担当者： 第二産婦人科部長 市川義一 TEL： 054-254-4311